

【韓国】 日韓国交正常化 50 周年をめぐる韓国側の発言

九州大学韓国研究センター助教 菊池 勇次

(本稿は、海外立法情報課が執筆を依頼したものである。)

* 日韓基本条約署名 50 周年 (2015 年 6 月 22 日) を迎え、日韓両首脳が東京とソウルで行われた記念行事にそれぞれ出席し、祝辞を述べた。また、朴槿恵 (パク・クネ) 政権で初となる外相の訪日を実現し、日韓外相会談が開かれた。

1 朴槿恵大統領の記念行事出席及び祝辞

2015 年 6 月 21 日、韓国大統領府は「朴槿恵大統領は 22 日、日本政府主催でソウルにて開催される韓日国交正常化 50 周年記念レセプションに出席し、祝辞を述べる予定」である旨発表した。

翌日、在韓日本大使館が主催する記念行事に出席した朴大統領は、次のとおり祝辞を述べた。「半世紀前の今日、両国は 20 世紀前半の不幸だった関係を克服し、和解と共生の新たな時代を開くべく、大きな一歩を踏み出した。その後の 50 年間、両国は政治、安全保障、経済、文化、スポーツ等の多様な分野における幅広い交流を通じ、関係を発展させてきた。国交正常化 50 周年である今年は、両国が未来に向かって進み得る歴史的な機会である。たとえ、両国の間に絡まった糸のような懸案があるとしても、両国の国民は互いを理解し、文化を通じて交流し、心を分かち合いながら近づいてきた。今こそ、そうした両国民の心を政府が乗り出してひとつに集め、懸案を解決していきながら、協力が必要な事案については両国関係の未来志向的発展のためにもともに協力していかなければならない。(中略) そのためには、最も大きな障害である過去の重荷を和解と共生の心によって下ろせるようにしていくことが重要である。(中略)『信なくば立たず』という言葉のように、両国国民の信頼と友情を積み重ねていくことも、何よりも重要だ。(中略)一人の夢は夢に過ぎないが、万人の夢は現実になるという言葉がある。韓日両国が 1965 年に始まった和解の旅路を続け、両国民が韓日関係の新たな未来に対する夢を見られるよう、その道とともに築いていくことを望む。」

2 日韓外相会談

東京で行われた記念行事には尹炳世 (ユン・ビョンセ) 外交部長官が派遣された。6 月 21 日、4 年ぶりとなる韓国外相の訪日に併せて開かれた日韓外相会談では、①世界遺産に申請された案件が円満な対話を通じて登録されるよう協力する、②日韓中サミットを本年できるだけ早期に開催する、③日韓外相会談を定例化することなどで両国が一致し、尹長官は岸田文雄外務大臣の年内の訪韓を招請した。この外相会談について、韓国外交部は次のとおり発表した。「両外相は最近、経済、通商、国防の分野で閣僚級会談が相次いで開催される等、両国の多様な分野で活発な対話と協力が行われていることを歓迎し、こうした

肯定的な流れを活かし、国交正常化 50 周年である今年を両国が新たな未来に向かってともに出発する元年としなければならないという点で意見が一致した。両外相は、6 月 22 日に両国首都で開催される 50 周年記念行事に韓日の首脳がそれぞれ出席することについても、韓日関係改善に対する両首脳の高い意思を反映したものであるという点で認識が一致した。尹長官は日本軍慰安婦被害者問題、日本の近代産業施設の世界遺産登録、戦後 70 周年首相談話等、両国の懸案を賢明に解決していくことにより両国関係改善の好循環を生み出さなければならないと強調した。」

3 額賀日韓議連会長と朴大統領、鄭義和（チョン・ウィファ）国会議長との面談

ソウルの記念行事に派遣された額賀福志郎日韓議員連盟会長は 6 月 22 日、記念行事に先立ち朴大統領と面談した。この席で朴大統領は次のとおり述べた。「今後、両国が互いに信頼を積み重ねる外交を通じ、過去の痛みを癒やしながら、両国関係の新たな転機を作っていけるよう望む。そうした面から、今年の 8 月 15 日に両国が和解と協力に進むことができるよう、安倍首相が 1965 年以降の歴代の内閣が堅持してきた認識を確実に継承することを期待する。」

次いで、額賀会長は 6 月 23 日、鄭義和国会議長と面談した。この席で鄭議長は次のとおり述べた。「記念行事に両国首脳が祝辞を述べたことは両国関係の改善に重要な転機となるだろう。日本が認めるべきことは認め、許しと和解を通じて両国関係が未来に向けて発展していかなければならない。8 月に予定されている安倍首相の談話に過去に対する反省が含まれることを期待する。『誠信の交わり』を通じて両国の友好協力関係が強化されなければならない。」

4 韓国主要政党の論評

与党・セヌリ党は 6 月 22 日に行われたブリーフィングにおいて、次のとおり述べた。「韓日国交正常化 50 周年を迎えて行われる両国首脳の日韓両首脳相互出席と韓日外相会談が韓日関係をより発展的で協力的な方向に導くきっかけとなることを望む。」

同日、最大野党である新政治民主連合は、ブリーフィングにおいて次のような立場を表明した。「日本政府に対し、韓日修交 50 周年を迎え、両国の摩擦の核心である慰安婦問題及び植民地支配等の過去の問題を認め、謝罪するよう求める。特に戦後 70 年談話において、単なる『反省』だけでやり過ごす水準にとどまってはならないという点を安倍首相に警告する。過去に対する日本政府の明確な態度が両国の摩擦を解消し、凍り付いた韓日関係を正常化する道であるという点を強調する。」

参考文献（インターネット情報は 2015 年 7 月 17 日現在である。）

- ・「한·일 국교정상화 50주년 기념 리셉션 대통령 축하 메시지」
<<http://www1.president.go.kr/news/newsList.php>>より
- ・「윤병세 외교부 장관, 방일 계기 기시다 외무대신과 회담」
<<http://www.mofa.go.kr/news/pressinformation/index.jsp>>より
- ・「김영록 수석대변인, 오후 현안 브리핑」
<http://npad.kr/npad/?page_id=672&mod=document&uid=56326>